

料金別納郵便



JEFF SHAPIRO

ジェフ・シャピロ 陶展

令和5年8月3日(木)~9日(水) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時(最終日9日は午後5時まで)

陶歴 昭和24年 アメリカ・ニューヨーク州に生まれる
昭和47年 日本で9年間、陶芸を学ぶ。その間、兵庫県浜坂で穴窯を作り作陶
備前を訪ねては伊勢崎淳先生に教えるを受ける
昭和57年 アメリカに帰国。以来ニューヨーク州アコードで作陶
平成18年 マサチューセッツ州、コンコードにて伊勢崎一門展(ラコスト ギャラリー)
平成22年 マサチューセッツ州、ボストンにて茶陶のシンポジウム開催(ボストン美術館)
平成23年 弊廊にて個展(平成26年)
以降、世界各地で展覧会を開催

ジェフ・シャピロさんは、米国ニューヨークの郊外で制作を続ける陶芸家です。今から50年近く前に来日され、備前焼の人間国宝 伊勢崎淳氏からも日本の焼き物について多くを学ばれました。時は流れ、平成10年には、伊勢崎淳氏のご子息、伊勢崎晃一朗さんが、大志を抱いて海を渡り、ジェフさんの門を叩き弟子入りされます。この拙稿を書いている時、まさに弊廊では晃一朗展を開催中であり、不思議なご縁を感じております・・・。

さて、弊廊で9年振りとなる本展では、最新作の茶盃、花入・酒器や箸置など約100点を発表致します。ご案内状用にと沢山の作品をお送り頂いたのですが、その中から私が選んだのは裏面の一盃でした。夏の時期の展覧会としては、背が高めて恐縮ですが、米国の土で成形され、薪窯で焼成された本盃は、見所満載の良盃でした。その佇まいも日本人とは違った感性で個性的であり、葉の調子も絶妙。正面にと選んだ場所はまさにトリコロールの様な三色の発色が美しく、その高台は、彼の真骨頂たる大胆な削りで、気に入りました。

先日、数年振りにジェフご夫妻が来日され、仲睦まじいお二人に久々に出会えました。彼は、日本の茶の湯文化を愛し、米国で茶陶のシンポジウムを開くなど、茶の湯文化の普及に努めるその前向きな姿勢に、日本人として頭が下がります。本展は残念ながらジェフさんの在廊はありませんし、暑い葉月の展観で恐縮ですが、どうぞご清覧を頂ければ幸いです。

店主 安田尚史

柿屋ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

公式Instagram



160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com



お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式SNSにて、最新情報をご確認頂ければ助かります。

